

一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本 部：〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-8 号 機械振興会館内
 TEL. 03 (3433) 5391 FAX. 03 (3434) 3354
 西日本支部：〒663-8133 兵庫県西宮市上田東町 4-97 甲南電機 (株) 本社内
 TEL. 0798-40-6600 FAX. 0798-40-6645

第 80 回理事会開催

第 80 回理事会が、4 月 21 日 (金) の 15:30 ~ 16:50 までの間、「ザ・プリンスさくらタワー」(高輪) 2 階会議室で開催されました。初めに事務局から理事の出席状況について理事総数 29 名のうち、出席理事名及び監事 2 名の出席があり、定款の定めるところにより本理事会が有効に成立していること、議長は田中会長が行うことを説明し審議に入りました。田中議長は議事録署名人として会長である本人と監事の松井氏及び古川氏の両名を指名し、その後、事務局に第 1 号議案の説明を求めました。事務局は配布資料 1 で「平成 28 年度の事業報告及び決算報告書」(案) を説明し、議長は議場に本件を諮り、異議なく承認されました。以下、



第 80 回理事会

主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

第 80 回理事会の開催・・・・・・・・・・	1	広報・PR 事業・・・・・・・・・・	7
平成 28 年度の経理・事業監査実施・・	4	中小企業関連事業・・・・・・・・・・	7
委員会開催・活動状況		振興対策事業・・・・・・・・・・	8
国際交流事業・・・・・・・・・・	5	会員ニュース・・・・・・・・・・	8
標準化事業／ISO 事業・・・・・・・・・・	5	工業会ニュース・・・・・・・・・・	9
標準化事業／規格事業・・・・・・・・・・	6	統計資料・・・・・・・・・・	13
技術調査事業・・・・・・・・・・	6		

(一社) 日本フルードパワー工業会
 URL <http://www.jfpa.biz/>

議長は議案ごとに事務局に説明を求め、議案を議場に諮り、異議なく承認されました。また、第5号議案以下の「その他」は一括説明し了承されました。

第80回理事会提出議案

1. 平成28年度事業報告及び決算報告（案）について（含む付属明細書）
2. 会員の異動の件
3. 平成29年度予算書見直し（案）の件
4. 平成29年・年度需要見通しの件
5. その他

事務局は資料第1号により「平成28年度事業報告書」（案）の概要を以下の通り説明した。

1.) 需要対策事業

以下の事業を実施しその成果を会員企業はもとより当会のHPやシンクタンク・金融機関等に広く提供し産業界の高度化等に貢献した。

- ①総需要委員会のもとで平成29・32年・年度の油空圧機器需要見直しを作成し、会員企業や関係者に配布した。
- ②平成28年10月に総需要委員会を開催し、「28年・年度の需要見直し」の見直し作業を行い、下期の景気の明るさから上方修正を行い会員各社に連絡した。
- ③油空圧機器の受注・生産・需要部門別出荷動向等に関する調査を実施し、月報や機関誌・事業報告書等に掲載するとともに関係者に配布した。また、工業会HP会員サイトに四半期統計資料等を掲載した。
- ④需要業界等関連団体の統計資料や関連情報を迅速に収集し関係者に提供した。
- ⑤その他需要対策に必要な事業を実施した。

2.) 国際交流事業

以下の事業を実施しその成果を会員企業はもとより当会のHPやシンクタンク・金融機関等に広く提供し産業界の高度化等に貢献した。

- ①平成29年3月に米国ラスベガスのCONEXPO(建機展)・IFPE(油空圧見本市)会場で開催された国際サミット会議に国際委員会委員長以下3名で出席し、各国代表及びIFPE出展の当会会員企業の関係者との意見交換等を行った。
- ②平成29年4月にドイツ・ハノーバーメッセ見本市及び欧州日系企業の視察団を派遣するため、3月に説明会と結団式を行った。
- ③経済産業省の協力を得て、6月に「2016年版不公正貿易報告書及び経済産業省の取組方

針について」、9月に「難民問題に揺さぶられる欧州の盟主ドイツ」及び「米国シリコンバレーのエコシステムについて」と題した講演会を開催した。また、12月に日工会の協力を得て、「工作機械から見た世界の市場動向」と題した講演会を開催した。

- ④中小企業委員会との共催で平成29年2月にJETROの協力を得て「経済連携協定(EPA)の状況と特恵関税の活用について～TPPを例に～」と題した講演会を開催した。
- ⑤会員企業の海外進出状況調査を行うとともに安全保障貿易管理等についての情報や資料の収集を行い迅速に提供した。これらは、当会HPにも掲載して広く情報を提供した。
- ⑥その他海外からの問い合わせ等国際交流に必要な事業を実施した。

3.) 標準化事業

ISO、JIS及び団体規格の新たな作成や改廃止を行うことにより、関連産業界のグローバル調達への対応や設計の簡素化・各産業界の合理化・高度化等に貢献した。

イ) ISO対策事業(JKA:フルードパワーの国際競争力に資する標準化推進補助事業)

- ①平成28年4月、6月、10月及び11月のISO国際会議へ参加するとともにISO規格回答原案作成事業を実施した。
- ②幹事国業務:ISO/TC131/SC7(密封装置:翻訳、通訳業務等)
- ③わが国提案のISO規格化への推進
- ④同上事業を実施するため、JKAから補助金の交付を受けた。

ロ) 規格事業

油圧・空気圧機器に関する規格の制定や改廃について検討・審議した。

- ①平成27年8月審議開始分のJIS1件について検討・審議し、改正案を提出した。
- ②平成27年12月審議開始分のJIS1件について検討・審議し、改正案を提出した。
- ③平成28年4月審議開始分のJIS1件について検討・審議し、改正案を提出した。
- ④平成28年8月審議開始分のJIS1件について検討・審議を開始した。
- ⑤平成28年12月審議開始分のJIS1件について検討・審議を開始した。
- ⑥平成28年度は、1件のJISを制定・発行し

た。

- ⑦平成 28 年度は、7 件の団体規格を制定・改正した。

4.) 技術調査事業

油圧部会及び空気圧部会並びに水圧部会で構成され、部会毎に事業を実施した。油圧部会及び空気圧部会においては、技術の高度化に資するため、ユーザ業界をも併せての情報収集や若手技術者を育成するため産学連携体制での諸活動を行った。

1) 油圧部会及び空気圧部会

- ①フルードパワー産業活性化のための小冊子「フルードパワーの世界」をベースに動画を挿入したデジタルブックを制作し配布した（60 周年記念事業）。
- ②油圧及び空気圧機器並びに油圧システム・空気圧システム等に関する業界共通の技術的課題提供につながる技術講演会を 2 回実施した。
- ③油圧機器業界及び空気圧機器業界の若手技術者懇談会を、ジヤトコ、トヨタ自動車の工場見学を含め合計 4 回開催した。
- ④空圧機器業界の知的財産に関する事業を推進するため特許分科会を開催した。
- ⑤Rohs や Reach 規制等グリーン調達に関する情報収集を行ったが、特段の新規情報はなかった。
- ⑥中央職業能力開発協会の要請による中央技能検定委員の工業会推薦を行った。
- ⑦工業会編による書籍「油圧・空気圧回路一書き方&設計の基礎教本」をオーム社から刊行した。
- ⑧その他油空圧に関する技術問題等に対応した。

2) 水圧部会

- ①フルードパワー産業活性化のための小冊子「フルードパワーの世界」をベースに動画を挿入したデジタルブックを制作し配布した（60 周年記念事業）。
- ②経済産業省の国際標準化事業の一環である「省エネ型水圧システムに関する国際標準化事業」（その他事業）の第 2 年目の実施に当たって、部会として協力した。
- ③ADS 市場拡大のための方策を検討するとともに、ADS 機器のカタログ収集とその分析を行う「仕様技術調査分科会」を編成し事業を推進した。

- ④その他水圧に関する技術問題等諸課題に対応した。

5.) 広報・PR 事業

工業会の活動状況等の情報を迅速に会員企業や HP・マスコミ・シンクタンク・金融機関等に広く提供することにより関連産業の高度化等に貢献した。

- ①工業会の毎月の活動状況等を取り纏めた「月報フルードパワー」を関係者に電子配信するとともに HP にも掲載し広く広報・PR に努めた。
- ②機関誌「フルードパワー」（季刊）を継続発行し、フルードパワー産業に関する各種最新情報及びトピックス、関連業界の動向、工業会活動報告等について広く情報提供した。特に、新規会員ページの新設等誌面の刷新を図った。
- ③創立 60 周年記念行事の開催に向け、「60 周年記念事業実行委員会」を設置し、事業を推進した。（60 周年記念事業）。
- ④機関誌の創立 60 周年記念特集号の企画と発刊作業を行った。（60 周年記念事業）。
- ⑤ホームページ掲載の記事を継続して更新した。
- ⑥その他広報・PR 活動に関する事業を推進した。

（その他事業）

6.) 中小企業関連事業

中小企業を取り巻く経済環境が激変するなか、以下の事業を実施し中小企業業界の発展を図った。

- ① 需要業界動向や中小企業施策等について METI 等と連携して迅速に情報を収集し、中小企業委員会のメンバーに提供するとともに中小企業委員会を年 4 回開催した。

委員会では、会長講演、国際委員会と合同での「経済連携協定(EPA) の状況と特恵関税の活用について ～TPP を例に～」講演会も開催した。また、「中小企業向け平成 28 年度税制改正内容、平成 27 年度補正予算について」と題する説明会も開催した。

一方、中小企業会員の多い関西地域での委員会も開催しており、本年は「ものづくりビジネスセンター大阪 (MOBIO)」を視察の後、ダイキン工業(株)の協力を得て同社の最新研究所(TIC)で委員会を開催した。その後、同研究所の見学会を実施した。

- ②中小企業委員会より当会事業としての「技術研修制度実施」について要望・意見があり、油圧装置調整士(1級、2級)の実技練習について意見交換を行った。本件については、平成29年度の実施に向けて引き続き意見交換を行い、実施についての方策を検討する。
- ③中小企業委員会 WG メンバーによる台湾研修視察団を派遣し、高雄にある地場の東台精機(工作機械)、台北にある日系の山葉機車(ヤマハ・二輪車)と永華機械(KYB・ショックアブソーバ)の工場を視察した。
- ④中小企業を支える福利厚生事業の「共済制度」を拡充するため、未参加企業への積極的な加入活動を行った。
- ⑤その他中小企業の振興に係る事業を実施した。

7.) 振興・PL・その他事業

激変する経済環境に的確に対応するため、需要業界の動向や PL 問題等に迅速に対応するとともに部会・支部会活動等を通じ業界の振興・発展を図った。

1) 振興対策

- ①産機・建機合同部会、シリンダ部会及び空気圧本部会を年4回開催し、業界の振興策等について意見交換を行った。
- ②地域経済の環境変化に対応するため、各地区部会や支部会も適宜開催するとともに、本部委員や事務局からも出席して意見交換を行った。
- ③国内外の需要動向等に関し統計資料を含む情報収集を行い、関係部会に迅速に提供した。
- ④その他業界の振興に係る事業を実施した。

2) PL 対策事業

海外 PL 及び国内 CGL (国内 PL、作業、業務遂行・施設のリスク：Comprehensive General Liability) からなる団体総合保険制度の健全な運営を諮り、業界の振興・発展を図った。

- ①PL 保険制度の基盤を強化するため、未加入会員会社へ訪問し、説明と勧誘をワールドインシュアランス社等と連携して行った。
- ②国内 PL 情報や海外 PL 情報を収集し会員企業に迅速に提供した。
- ③10月に「海外危機管理セミナー ～直面する脅威に備えて～」と題した講演会を実施した。
- ④製造業者 E&O (経済損失カバー) については、

引き続き今後の検討課題とした。

- ⑤その他の PL 関連情報の収集と提供等 PL 対策に係る事業を推進した。

3) その他事業

- ①60周年記念式典及び記念講演会を5月19日に品川プリンスホテルにて開催した。
記念式典では、4名が経済産業大臣表彰を、14名が会長表彰を授与した。その後、経済産業省産業商務情報政策局の西垣淳子課長から「IoTによる製造業の変革」のテーマでお話を伺った。
- ②経済産業省の国際標準化事業の一環として「省エネ型水圧システムに関する国際標準化事業」を野村総研から受託した。この事業は昨年度から実施しており、5大学の先生方の協力を得て水圧部会を中心に、「ADS 国際標準化推進委員会 (委員長：山口惇横浜国立大学名誉教授) を設置し、標準化原案作成事業を推進している。
- ③当業界の「高齢者雇用推進事業」を推進するため、会員企業の60歳以上の社員の雇用状況をアンケート及びヒアリング調査を行い今後の課題と対策について検討した。
- ④生産性向上設備投資促進税制の証明書発行業務団体として登録されたことから証明書の発行業務を行った。
- ⑤地域工場・中小企業等の省エネルギー設備導入補助金の証明書発行業務登録団体として登録されたことから証明書発行業務を行った。
- ⑥官公庁や関連団体等からの各種調査等の実施依頼と取り纏め作業を行った。
- ⑦年始会や総会及び西日本支部総会並びに懇親ゴルフ会等を開催した。産学連携事業の一環として、大学、高専等の先生方を年始会、総会等の懇談会に招待した。
- ⑧西日本支部の活動を支援した。
- ⑨その他本会の目的を達成するために必要な事業を実施した。

次に「平成28年度の決算報告」(案)の概要を以下の通り説明した。

平成28年度の総収入額は、142百万円強で、これに対し支出は各項目とも節約に努めた結果、事業費支出で103百万円強、管理費支出で34百万円弱となり、事業活動収支差額は、6百万円弱の黒字となった。一方、投資活動収支差額では、60周年記念事業資産取り崩しで5百万円の収入があり、支出では退職給与引当金2百万円強を支出し合計で3百万円

弱の収入となった。これにより当期収支差額は9百万円弱の黒字となり、さらに前期繰越収支差額が48百万円弱あったため、全体では次期繰越収支差額が56百万円強まで積み増せた。

なお、この決算内容については去る4月12日(水)に開催した監事による事業監査で詳細に説明して、承認を得た旨を併せて説明した。

次に議長は、監事に対し監査報告を求め、古川監事から監査報告があった後、議長は本件を議場に諮り、1~2の質疑応答の後、異議なく承認された。本件は5月18日開催の通常総会に上程される。

次に議長は第2号議案の説明を求め、事務局から資料第2号で「会員の異動状況」を説明した。議長は本件を議場に諮り、異議なく承認された。本件は5月18日開催の通常総会に上程される。

次に議長は第3号議案の説明を求め、事務局から資料第3号により「平成29年度事業計画及び収支予算」(案)について1月の理事会で承認を得ているが、今般の決算の確定と補助事業の金額確定に伴い一部収入が増加する旨説明した。議長は本件を議場に諮り、異議なく承認された。本件は5月18日開催の通常総会で報告される。以上で審議は終了し、報告事項の説明に入った。

報告事項については、事務局から一括説明し、16:50に理事会は終了した。その後、産学連携事業として、(一社)日本フルードパワーシステム学会の理事の先生方等6名を交えた懇親会を開催し、和気あいあいのうちに散会しました。

平成28年度の事業・経理監査の実施

日時 4月12日(水) 10:00 ~ 11:50

場所 当会会議室

出席者 松井監事・古川監事

事務局 藤原、鎌原、

議事

平成28年度事業及び決算に関する監査が4月12日(水)の午前中に当会会議室で行われた。当日は、(株)マツイの松井及び古川税理士の両監事に対し事務局から「平成28年度の事業報告書及び決算書」(案)を詳細に説明した。

その後、両監事はパソコンを含む諸書類及び諸帳簿並びに残高証明書等を詳細にチェックし、正確・適正に処理されている旨の講評がありました。

委員会開催・活動状況報告

(詳細については各担当者にご照会下さい)

~~~~~

国際交流事業

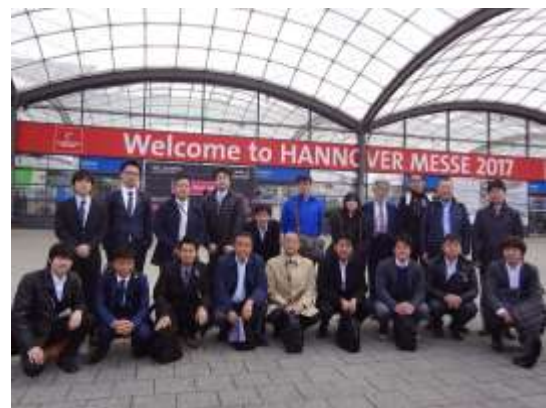
~~~~~

ハノーバーメッセ視察団2017の実施

ドイツのハノーバーで開催された恒例のハノーバーメッセと欧州進出の日系企業の視察を兼ねた欧州視察団が4月20日(木)に出発した。今回の視察団は、太田晶久団長(KYB(株)技術本部 事業開発推進部部长)・花岡隆司副団長(神威産業(株)営業部部长 兼 大阪営業所長)以下会員企業9社の若手社員15名と事務局、添乗員の総勢19名が参加し、旅行中大きなトラブルもなく4月28日(金)に無事羽田空港に帰国した。

視察団は、日程の前半に日産自動車スペイン工場、コマツ鉱山機械ドイツ工場、JETRO デュッセルドルフ事務所を視察し、最近の欧州の経済動向等について詳細な説明を受けた。後半はハノーバーメッセ展の広い会場をある程度テーマを分担し絞って視察を行った。また4月26日の午後に会場内の会議室でISC国際統計委員会が開催され、事務局 堀江が出席した。

これらの詳細については、5月18日に報告会を開催し、6月に報告書を発行するのでそちらを参照して頂きたい。



ハノーバーメッセ会場入口にて

~~~~~

標準化事業/ISO対策事業

~~~~~

油圧システム分科会

日時 4月13日(木) 13:30 ~ 17:00

場所 機械振興会館 6-63 会議室

出席者 町田主査以下7名

事務局 千葉、前畑

議事

委員の交代があり、東京計器：渋谷主査から町田主査に交代された。

前回議事録確認後、平成 28 年度 B 区分登録した JIS B 0125-2「油圧・空気圧システム及び機器一図記号及び回路図一第 2 部：回路図」の改正原案について検討し、内容見直しを完了した。また、本原案を JIS 原案作成委員会審議前の中間チェックとして日本規格協会に提出することとした。

次回開催：5 月 11 日（木）機械振興会館

油空圧シール分科会

日 時 4 月 25 日（火）13：30 ～ 16：30

場 所 機械振興会館 6-64 会議室

出席者 南主査以下 13 名

事務局 千葉、前畑

議 事

委員の交代があり、荒井製作所：方波見委員から但木委員に交代された。

前回議事録の確認後、来月（5/15～19）開催の ISO サンアントニオ会議の議題になるドイツ提案（内径伸長率範囲の拡大）について、内容確認し討議した。ISO 会議までに本分科会委員の国内シール各社の見解をまとめることとした。

次いで、JIS B 8396 改訂について審議した。日本規格協会の中間チェックを受けた原案について、内容確認し指摘事項の修正を行った。本 JIS 改正を審議する JIS 原案作成本委員会が来月（5/30）に開催されることになり、それまでに修正案をまとめることとした。

次回開催：6 月 13 日（火）機械振興会館

投票に付されている ISO 規格案

(TC131)

FDIS 3968 Hydraulic fluid power -- Filters -- Evaluation of differential pressure versus flow

FDIS 6149-4 Connections for fluid power and general use -- Ports and stud ends with ISO 261 metric threads and O-ring sealing -- Part 4: Dimensions, design, test methods and requirements for external hex and internal hex port plugs

FDIS 4406 Hydraulic fluid power -- Fluids -- Method for coding the level of contamination by solid particles

~~~~~

標準化事業／規格事業

~~~~~

空気圧制御技術分科会

日 時 4 月 5 日（水）13:00～15:00

場 所 機械振興会館 6-63 会議室

出席者 渡辺主査以下 5 名

事務局 千葉、前畑

議 事

委員の交代があり、CKD：田中主査から米田委員に交代、日本ピスコ：八手又委員が退任された。また新主査に、TAIYO：渡辺主査が就任された。

前回議事録確認後、平成 28 年度実績と平成 29 年度計画について審議した。平成 29 年度活動案件として、JFPS 2017「空気圧吸着搬送用真空システム」の改正、空気圧機器の制御に関する用語の制定、防爆に関する規格化の検討の 3 つの候補について審議し、その結果、空気圧機器の制御に関する用語の制定を取り上げることとした。

次回開催：9 月 20 日（水）機械振興会館

空気圧バルブ分科会

日 時 4 月 6 日（木）13：30 ～ 16：50

場 所 機械振興会館 6-63 会議室

出席者 石毛主査以下 8 名

事務局 千葉、前畑

議 事

委員の交代があり、CKD：夏目主査が米田委員に交代、コガネイ：土澤委員が渡邊委員に交代された。また新主査に、クロダニューマティクス：石毛主査が就任された。

前回議事録確認後、夏目前主査より、JIS 公募区分 A（H29/4 開始分）に申請した案件に対する経産省ヒアリング（2/21 開催）の結果報告があった。

続いて、JIS B 8376「空気圧用速度制御弁」の見直し作業を実施し、約 1/3 を完了した。

最後に、平成 28 年度実績と平成 29 年度計画について審議した。平成 29 年度は、JIS 公募案件に登録された JIS B 8376「空気圧用速度制御弁」の改正完了を重点目標として活動することとした。

次回開催：6 月 29 日（木）機械振興会館

空気圧システム分科会

日 時 4 月 19 日（水）13：00 ～ 16：00

場 所 機械振興会館 6-68 会議室

出席者 増尾主査以下 7 名

事務局 千葉、前畑

議 事

委員の交代があり、TAIYO：田中委員から阪本委員へ交代された。

前回議事録の確認後、ISO 投票に掛かっている ISO/SR 1219-1 (投票期限：9/4) について内容確認及び対応を協議した。事前に各委員にて検討し、次回(6月)の分科会で審議することとした。

次に、改訂版リスク低減に関するガイドブック (JIS B 8370:2013 準拠) 案について継続審議した。前回ペンディング分のリスク低減方法一覧表の審議を完了し、本文の審議に入った。

次回開催：6月23日(金) 機械振興会館

油圧バルブ分科会

日時 4月20日(木) 15:00～17:00

場所 機械振興会館 6-64 会議室

出席者 浦井主査以下12名

事務局 千葉、前畑

議事

前回議事録確認後、浦井主査より、JIS B 8659-2 経産省専門委員会審議(2/10)、JIS B 8387 規格調整分科会(3/14)の報告がなされた。

次に、投票に掛かっている ISO/CD 4411 (投票期限：5/6) について審議し、試験回路図の微修正が必要であることを指摘したコメント付き賛成で投票することとした。

次に、JIS B 8668 改正について討議した。対応 ISO 規格の改正内容を確認し、検討担当の割振りを決定した。次回(9月)に各自検討結果を持ち寄り、審議することとした。

次回開催：9月28日(木) 機械振興会館

空気圧調質機器分科会

日時 4月24日(月) 13:30～16:30

場所 機械振興会館 6-60 会議室

出席者 小田主査以下5名

事務局 千葉、前畑

議事

前回議事録の確認後、ISO サンアントニオ会議のアジェンダについて内容確認し情報共有した。

次いで、JIS B 8371-1 改訂について、改正案の内容について検討した。本文の改正は今回でほぼ終了したため、次回以降、附属書の改正及び JIS B 8371-2 の改正作業に移ることとした。

次回開催：5月31日(水) 機械振興会館

空気圧流量測定分科会

日時 4月26日(水) 13:30～16:30

場所 機械振興会館 5S-4 会議室

出席者 妹尾主査以下9名

事務局 千葉、前畑

議事

委員の交代として、CKD：長井委員から大竹委

員に交代、ニッタ：嵯峨委員から浅里委員に交代された。

前回議事録確認後、投票に掛かっていた空気圧システムエネルギー効率最適化の TR の日本コメントについてドイツとフランスから意見が出されたため、その内容を確認した。本件は ISO サンアントニオ会議の議題となるため、日本としての見解について討議した。

次いで、JIS B 8390-2 改正について前回からの継続審議を行った。今回で改正作業は終了し、今後、日本規格協会中間チェック(8月頃)を受けた後、JIS 原案作成本委員会(10月頃)にて審議することとした。

次回開催：6月30日(金) 機械振興会館

~~~~~

#### 技術調査事業

~~~~~

技術委員会空気圧部会第534回特許分科会

日時 4月21日(金) 13:00～17:00

場所 機械振興会館 6-63 会議室

出席者 赤松幹事以下5名

事務局 吉田

議事

前回議事録確認した。公報の検討と無効理由調査について継続審議中の案件について審議した。3件については引き続きウォッチングしていくこととした。1件については外部調査機関へ調査を依頼することとした。2件については新たな証拠資料も含め審議した。引き続き調査することとした。

平成28年度収支明細、平成29年度予算(案)、平成29年度開催予定を確認し、承認された。

次回開催：5月26日(金) 機械振興会館 6-60 会議室

技術委員会 水圧仕様技術調査 WG (第1回)

日時 4月26日(水) 13:30～15:00

場所 機械振興会館 B2-2 会議室

出席者 黒須寛主査以下2名

事務局 宮川、大橋

議事

主査、副主査、事務局で、平成29年度の取り組み内容及び日程に関して打合せを行った。

この結果、本年度の進め方は、昨年度実施した水圧機器の仕様分析・評価作業に加え、ADS 国際標準化に向けた企業側標準化アイテムの調査作業を行うこととし、年間日程計画も含めて次回委員会に提案していくこととなった。

技術委員会 水圧部会（第1回）

日時 4月26日（水）15:00～17:00

場所 機械振興会館 B2-2 会議室

出席者 宮川部会長以下14名

事務局 大橋

議事

聴講者として参加の東京計器^ハワ-システム殿の紹介及び宮川部会長の挨拶の後、議事に入った。

1. IFPEX2017 出展関連

出展各社から提出された水圧コーナー全体の展示内容（動展示、静展示、各社及び共通パネル、配布資料、案内DM、名札等）に関して、大林委員作成の資料一覧表に基づいて意見交換を行い、制作可否の決定及び今後の作業を確認した。また、案内DM及びA5版パンフADS市場マップ及び応用装置の素案に関して検討を行った。これらはスケジュールと併せ、次回部会にてフジサンケイビジネスアイ・荒井部長と調整を行うこととした。

2. ブログ関連

4月のブログ掲載状況と解析結果が鳥居委員から説明された。また、IFPEXの予告・結果報告の掲載日程案が示され、通常のカテゴリーについての記事提案が要請された。

次回開催：5月31日（水）、機振会館

~~~~~  
広報・PR事業  
~~~~~

第92回編集委員会

日時 4月5日（水）15:00～17:00

場所 機振会館 6-61 会議室

出席者 坂井委員長以下15名

事務局 藤原、大橋

議事

齋藤委員長から引き継いだ坂井新委員長及び新旧交代委員の挨拶、出席者による自己紹介の後、議事に入った。

① VOL. 31, NO. 1～2（新年～春号）報告

事務局から両号の目次にて記事内容と印刷数、送付先数等を報告した。印刷数は漸増している。懸案だったIoT関連の解説は春号に掲載となる。

② VOL. 31 年間企画と記事提案状況

2017年の年間企画表にてIFPEX2017特集記事を含む夏号、秋号の記事構成を説明した。春号から複数の「解説」「ミニ知識」が始まっているため、両号とも特集記事と併せて100頁を超える見込みである。「会員企業の窓」には新会員企業の紹介記事を予定している。秋号に関しては「身近なフルードパワー」記事が空白である。

その後、編集委員から配布記事提案表により新規提案分及び掲載済み分等の説明を受けた。

事務局から、「日本留学者の声」は現在2件の候補があるため、来年をめどに4件集まった段階で再開することを報告した。また「身近な」案及び新たに「余白埋め草シリーズ」案を提案し、WGにて検討することとした。

③ 機関誌のあり方・配布先について

WG主査から、「若い人へのアピール」をテーマとして特集または継続掲載の可能性を第116回WGで検討したことを報告した。進め方、内容に関して議論の後、WGの継続議題とした。

配布先・配布数の拡大については、WGにて電子版をWebで一般公開する案が出され、問題点や他学会の状況確認、意見交換を行った。

④ 次回開催：

- ・第117回WG 6月6日（火）、機振会館
- ・第93回委 10月6～7日（金～土）

~~~~~  
中小企業関連事業／その他事業  
~~~~~

第1回中小企業委員会

日時 4月12日（水）15:00～17:00

場所 機械振興会館 5S-1 会議室

出席者 十万委員長以下14名

事務局 藤原、堀江

議事

1. 講演

十万委員長の挨拶の後、経済産業省製造産業局産業機械課・片岡隆一課長から「最近の経済動向」の演題で講演会を開催した。

講演の概要は以下の通り。「世界の経済動向」では米国、ユーロ圏、中国、新興国などの経済見通し。「日本の経済動向」では日本のGDP予想、大企業・中堅企業の経常利益・設備投資の見通し、その他について詳細な説明があった。

2. 出席各社の現況報告

各社の景況感等について報告があった。

3. 事務局から工業会技術研修制度（油圧装置調整技能士受験向け講座）について説明するとともに平成29年・年度油圧・空気圧需要見通しについて概要を報告した。

次回開催：7月12日（水）関西地区を予定

~~~~~  
振興対策事業  
~~~~~


IFPEX2017 実行委員会準備会

日 時 4月14日(金) 15:00 ~ 17:15

場 所 フジサンケイビル 8階会議室

出席者 矢島委員長以下 16名

事務局 藤原、唯根

荒井、富山

(フジサンケイビジネスアイ)

第25回 IFPEX2017の運営に関する事業の取決めについて、継続審議を含め検討と報告を行った。基調講演については、最終的に3名程の候補を挙げた中から、候補者のスケジュール等の返信があり、テーマを「モノづくりでどのように儲けるのか」「モノづくりの将来性」を候補として、勝間和代氏にお願いすることが確認された。

ユーザーフォーラム技術セッションについては、I0-Link や IOT が油圧・空気圧に関係なくモノづくり企業共通の関心事であるため、重点的に小間を取る事となった。

今回より集客増を狙い、リスティング広告を行う旨事務局から提案が行われた。キーワードについては今後継続して検討する。

次回開催：6月2日(金) フジサンケイビル
8階会議室

~~~~~  
会員ニュース  
~~~~~

☆事務所移転
(正会員)

光陽精機(株)より、営業拠点移転の連絡がありましたのでお知らせします。

業務開始日 平成29年5月1日(月)

住所：〒101-0032

東京都千代田区岩本町 3-10-4

寿ビル 10F

電話：03-4329-1311

FAX：03-4329-1310+

~~~~~  
工業会ニュース  
~~~~~

☆5月よりクールビズを導入

当工業会では、本年も5月1日(月)~9月30日(金)までの間「クール・ビズ」を導入しますのでお知らせします。期間中の工業会開催の会議への出席については、軽装(ノーネクタイ・ノー上着等)でご出席下さい。なお、経済産業省からも同期間中は「クールビズ」を導入するとのこ

とで、同省への訪問も「クールビズ」でよいとのことです。

~~~~~  
今後の主要行事予定  
~~~~~

☆5月18日(木)平成29年度(第18回)定時総会及び懇親会

(時 間) 15:30~16:50

(場 所) 東京プリンスホテル(芝公園)

2F サンフラワーホール

同懇親会

(時 間) 17:00~18:30

(場 所) 東京プリンスホテル(芝公園)

2F マグノリアホール

☆5月19日(金)第56回 JFPA 懇親ゴルフ会

(場 所) 程ヶ谷ゴルフ倶楽部

IN・OUT 9:30 スタート

☆6月21日(水)標準化・技術合同委員会

(場 所) 機振会館

☆7月12日(水)第2回中小企業委員会

(場 所) 未定

☆9月13日(水)~15日(金) IFPEX2017

(場 所) 東京ビックサイト東ホール

☆10月26日(木)西日本支部総会

第81回理事会

(場 所) 未定

☆10月27日(金)西日本懇親ゴルフ会

(場 所) 未定

*平成30年

☆1月11日(木)年始会・第82回理事会

(場 所) 東京プリンスホテル(芝公園)

~~~~~  
4月に開催された当会各委員会に出席された皆様は以下の通りです。(敬称略)  
~~~~~

(国際交流事業)

ハノーバメッセ視察団

開催日 4月20日(木)~28日(金)

参加者

団 長 太田 晶久 (KYB)

副団長 花岡 隆司 (神威産業)

団 員 星 蔵貴 (神威産業)

〃 岩村 裕之 (光陽精機)

〃 中田浩一郎 (光陽精機)

〃 吉富 英明 (南武)

// 野村 正樹 (南武)
// 西脇 俊一 (ニッタ)
// 多米 龍司 (日本アキュムレータ)
// 真田 秀幸 (日東工器)
// 高橋 陽一 (日東工器)
// 山崎 真人 (廣瀬バルブ工業)
// 浅尾 幸良 (廣瀬バルブ工業)
// 山下 太朗 (マツイ)
// 金谷 昌明 (マツイ)
// 佐藤 伸二 (三尾製作所)
// 高橋 友則 (三尾製作所)
添乗員 尾谷有里奈 (ベストワールド)

(標準化事業/ISO 対策事業)

油圧システム分科会

開催日 4月13日(木)

出席者

主査 町田哲治 (東京計器)
委員 中川幸隆 (川崎重工業)
// 城ヶ崎正生 (豊興工業)
// 山本裕 (ボッシュ・レックスロス)
// 柏野智 (油研工業)
// 伊藤隆 (KYB)
// 渋谷文昭 (東京計器)

油空圧シール分科会

開催日 4月25日(火)

出席者

主査 南暢 (日本バルカー工業)
委員 方波見栄次 (荒井製作所)
// 中尾雅司 (NOK)
// 太田正貴 (阪上製作所)
// 北川泰章 (CKD)
// 相場宣慶 (東京計器)
// 小畑博美 (JFPA)
// 木挽一彦 (三菱電線工業)
// 小田敏裕 (甲南電機)
// 宮本博夫 (NOK)
// 但木郁夫 (荒井製作所)
// 鈴木康永 (SMC)
// 寺島剛資 (エア・ウォーター・マッハ)

(標準化事業/規格事業)

空気圧制御技術分科会

開催日 4月5日(水)

出席者

主査 渡辺敏之 (TAIYO)
委員 高橋隆通 (甲南電機)
// 金子幸夫 (コガネイ)
// 米田充基 (CKD)

// 田中広 (CKD)

空気圧バルブ分科会

開催日 4月6日(木)

出席者

主査 石毛浩二 (クロダニューマティクス)
委員 夏目清辰 (CKD)
// 大島雅之 (SMC)
// 河野喜之 (甲南電機)
// 中古弘 (TAIYO)
// 渡邊陽 (コガネイ)
// 八手又秀浩 (日本ピスコ)
// 土澤聡明 (コガネイ)

空気圧システム分科会

開催日 4月19日(水)

出席者

主査 増尾秀三 (CKD)
委員 佐々木政彰 (アズビル TACO)
// 神戸孝典 (甲南電機)
// 門間崇宏 (コガネイ)
// 張 護平 (SMC)
// 阪本晴康 (TAIYO)
// 田中和彦 (TAIYO)

油圧バルブ分科会

開催日 4月20日(木)

出席者

主査 浦井隆宏 (ボッシュ・レックスロス)
委員 原健二郎 (川崎重工業)
// 瀬川均 (ダイキン工業)
// 安永和敏 (東京計器)
// 小林正幸 (ナブテスコ)
// 吉本光宏 (日立建機)
// 高野一治 (油研工業)
// 砂金賢憲 (タカコ)
// 藤坂昌廣 (豊興工業)
// 八上光春 (廣瀬バルブ工業)
// 森田浩司 (廣瀬バルブ工業)

空気圧調質機器分科会

開催日 4月24日(月)

出席者

主査 小田敏裕 (甲南電機)
委員 三村岳 (SMC)
// 土岐真人 (コガネイ)
// 國崎雄嗣 (CKD)
// 高橋隆通 (甲南電機)

空気圧流量測定分科会

開催日 4月26日(水)

出席者

主査 妹尾満(SMC)

委員

〃 齊藤悠(コガネイ)

〃 若原洋行(TAIYO)

〃 佐々木政彰(アズビルTACO)

〃 八手又秀浩(日本ピスコ)

〃 高橋浩爾(上智大学)

〃 浅里信元(ニッタ)

〃 大竹崇(CKD)

〃 長井敏和(CKD)

(技術調査事業)

技術委員会空気圧部会第534回特許分科会

開催日 4月21日(金)

出席者

幹事 赤松直人(甲南電機)

委員 栗盛宏樹(アズビルTACO)

〃 井野雅康(SMC)

〃 今野英俊(コガネイ)

〃 細田一也(CKD)

技術委員会 水圧仕様技術調査WG(第1回)

開催日 4月26日(水)

出席者

主査 黒須寛(イハラサイエンス)

副査 大林義博(KYB)

[聴講] 内田晃(日本アキュムレータ)

技術委員会 水圧部会(平29年度第1回)

開催日 4月26日(水)

出席者

部会長 宮川新平(JFPA)

委員 大林義博(KYB)

〃 村田秀紀(阪上製作所)

〃 黒須寛(イハラサイエンス)

〃 鳥居良介(阪上製作所)

〃 大川宗久(大電)

〃 藤木俊輔(大電)

〃 内田晃(日本アキュムレータ)

〃 細井耕平(堀内機械)

〃 石丸典幸(豊興工業)

〃 高橋永治(マルヤマエクセル)

〃 安藤進(オリオン機械)

[聴講] 土岐一巳(東京計器パワーシステム)

(広報・PR事業)

第92回編集委員会

開催日 4月5日(水)

出席者

委員長 坂井静(KYB)

副委員長 水野純一(CKD)

WG主査 宮能治(KYB)

顧問 北川能(元東工大)

顧問 小山紀(明治大学)

顧問 田中豊(法政大学)

委員 浦井隆宏(ボッシュ・レックスロス)

〃 大久保俊克(阪上製作所)

〃 松島嘉則(阪上製作所)

〃 神戸孝典(甲南電機)

〃 豊田敏久(川崎重工業)

〃 永井茂和(SMC)

〃 東川智信(TAIYO)

〃 宮坂篤(油研工業)

〃 諸橋博(東京計器)

(中小企業関連事業/その他事業)

第1回中小企業委員会

開催日 4月12日(水)

出席者

委員長 十万幹雄(神威産業)

委員 松田庄三郎(光陽精機)

〃 向恭男(大生工業)

〃 澤田敬之(タイヨーインタショナル)

〃 澤田啓支朗(タイヨーインタショナル)

〃 森田勇一(大生工業)

〃 杉村登夢(日本アキュムレータ)

〃 高橋征爾(富士エンジニアリング)

〃 三尾行康(三尾製作所)

〃 西川治子(理研精機)

〃 阿部利恵(経済産業省)

オブザーバー 服部嘉博(経済産業省)

(振興対策)

空気圧本部会

日時 4月11日(火)

出席者

部会長 富田勝憲(SMC)

副〃 湯原真司(CKD)

幹事 中村賢次(ニューエラー)

会計 長谷川靖(甲南電機)

委員 安藤進(オリオン機械)

〃 西村安弘(クロダニューマティクス)

〃 川崎久士(コガネイ)

〃 深尾稔(TAIYO)

〃 柚木弘司(日本精器)

IFPEX2017 実行委員会準備会

開催日 4月14日(金)

出席者
委員長 矢島俊也 (油研工業)
委員 谷尾和彦 (SMC)
〃 湯浅貴之 (神威産業)
〃 河村茂樹 (神威産業)
〃 水 悟史 (川崎重工業)
〃 宮田浩明 (コガネイ)
〃 澤田啓支朗 (タイオンテクノ)
〃 内山 治 (東京計器)
〃 杉村登夢 (日本アキュムレータ)
〃 久保康之 (不二越)
〃 小林幸雄 (ボッシュ・レックスロス)
〃 田中健太 (ボッシュ・レックスロス)
〃 宮川新平 (水圧部会)

シリンダ部会

日時 4月18日 (火)

出席者
委員 渡辺和功 (大垣鐵工所)
〃 村上博昭 (光陽精機)
〃 米田正晴 (TAIYO)
〃 福田賢二 (堀内機械)
〃 沢辺 充 (三尾製作所)

~~~~~  
月間行事概要  
~~~~~

<4月>

5日 (水)
・編集 (委) 編集委員会
・標準化 (委) 制御技術分科会
6日 (木)
・標準化 (委) 空気圧バルブ分科会
11日 (火)
・振興対策 空気圧本部会
12日 (水)
・中小企業 (委) 中小企業委員会
・平成28年度事業・経理に関する監査/監事
13日 (木)
・ISO (委) 油圧システム分科会
18日 (火)
・振興対策 シリンダ部会
19日 (水)
・標準化 (委) 空気圧システム分科会
20日 (木)
・標準化 (委) 油圧バルブ分科会
20日 (木) ~ 28日 (金)
・ハノーバーメッセ視察団派遣
21日 (金)

・第80回理事会
・技術 (委) 空気圧部会第534回特許分科会
24日 (月)
・ISO (委) 調質機器分科会
25日 (火)
・ISO (委) 油空圧シール分科会
26日 (水)
・標準化 (委) 流量測定分科会

☆経済産業省ホームページ

経済産業省のHPでは①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁HPでも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>
